

独立行政法人

産業技術総合研究所

における水関連教育研究プログラム

GROUNDWATER RESEARCH GROUP
GSJ, AIST

地圏資源環境研究部門 丸井 敦尚

イノベーション・スクール

博士号を持つ若手研究者を産総研のポスドク(産総研特別研究員)として受け入れ、特定の専門分野について科学的・技術的な知見を有しつつ、より広い視野を持ち、異なる分野の専門家と協力するコミュニケーション能力や協調性を有する人材として育成することを目指しています。カリキュラムを通じて、企業をはじめ社会の様々な重要な場で即戦力として活躍できる人材を輩出させ、社会的なニーズと有用な人材のミスマッチを解消することに寄与していきます。

CCOP (Coordinating Committee for Geoscience Programmes in East and Southeast Asia)

CCOP は、国連アジア極東経済委員会(後のアジア太平洋社会経済委員会)の付属機関として、1966年に設立されました。1984年9月に ESCAP より独立し、政府間機関に移行しました。本部はバンコク(タイ)にあり現在、11ヶ国(中国、インドネシア、日本、韓国、カンボジア、マレーシア、パプア・ニューギニア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)が加盟しています。CCOP の活動目的は、東アジア・東南アジアの沿岸および沿海地域における持続的発展のため、応用地球科学分野の活動を共同で行うことです。

若手研究者在外研究支援制度(1年間の渡航費と滞在費、研究費)などこのほかにもたくさんのプログラムがあります。

イノベーションスクール

- 2008年より、6期247名を6分野で受け入れる
- 1年間の研究活動中に3か月以上のOJTを実施
 - ⇒大学・産総研・企業の経験を持つ人材の育成
- 地下水Grでは、この間6名(うち2名は外国人)を受け入れた
 - ⇒研究の支給、内外の学会発表の機会を与える
- 終了後は、国立研究機関や企業研究所、大学などに就職
 - ⇒終了後67%のスクール生が正規就職

CCOP

- 産総研(地質調査総合センター)としての包括的な取り組み
- 地下水では、2007より独自プロジェクトを立ち上げている
 - ⇒CCOP地下水データベースの構築、東南アジア諸国水文環境図の作成
- JICAなどの協力も得て、On/Off JT を多角的に実施(日本への招聘も)
 - ⇒各国の主要地質調査機関からの参加者多数(平均2名/国)
- 成果は毎年の報告書のほか、出版物(産総研・CCOP)やHPのDBで公開

**Hydrogeology
makes your
dreams
come true !**

